

# 1 消防のあゆみとおもな災害



## 消防のあゆみ

年 代	変 遷
昭和 23. 3. 7	消防組織法の公布施行に伴い、警察行政より分離して小田原市消防本部、消防署並びに消防団を設置し、自治体消防として発足する。 ○ 組 織 消防長以下 37 名、消防団 15 個分団、特設 2 個分団 1,237 名 ○ 設 備 消防車 6 台 ○ 設置場所 小田原市幸 1-138
昭和 23. 4. 1	下府中村合併に伴い、消防団を 16 個分団、特設 2 個分団 1,437 名とする。
昭和 25.11. 4	消防本部庁舎を新設する。（消防職員定数 55 名）
昭和 25.12.18	桜井村合併に伴い、消防団を 17 個分団、特設 2 個分団 1,558 名とする。
昭和 26. 7.16	足柄出張所を設置する。 ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市多古 644 消防本部の係を庶務、予防、消防の 3 係とする。
昭和 27. 4. 1	分団に小型動力ポンプを配置するとともに改組し 19 個分団 653 名とする。
昭和 27. 4. 9	消防職員定数を 62 名とする。
昭和 29. 7.15	豊川村合併に伴い、消防団を 20 個分団 713 名とする。
昭和 29.12. 1	国府津町、酒匂町、上府中村、下曾我村、片浦村合併に伴い、消防団を 25 個分団 1,261 名とする。
昭和 30. 2.28	消防用中短波陸上無線局を開局する。（基地 1・移動 2）
昭和 31. 6. 1	曾我村の一部合併に伴い、消防団を 26 個分団 1,382 名とする。
昭和 31. 6. 4	川東分署を設置する。（消防職員定数 82 名） ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市国府津 2,493 足柄出張所を足柄分署に改める。
昭和 31.12. 1	川東分署の設置に伴い消防団を改組し 24 個分団、特設 3 個分団 1,159 名とする。
昭和 35. 7. 1	救急車 1 台を本署に配備し、救急業務を開始する。 消防職員定数を 88 名とする。
昭和 36. 4. 1	機構改革により消防本部に事務課（庶務係）、消防課（予防係、消防係）の 2 課を新設する。 消防職員定数を 103 名とする。 常備消防の整備に伴い、消防団を改組し 21 個分団 689 名とする。
昭和 36. 5.25	西分署を設置する。 ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市南板橋 2-255 足柄分署を北分署に、川東分署を東分署に改める。
昭和 38. 2. 1	消防職員定数を 116 名とする。
昭和 38. 4. 1	西大友分遣所を設置する。 ○ 組 織 消防職員 8 名 ○ 設 備 消防車 1 台 ○ 設置場所 小田原市西大友 9

## 消防のあゆみ

年 代	変 遷
昭和 38. 5. 15	消防職員定数を 129 名とする。
昭和 38. 8. 1	西大友分遣所の設置に伴い、消防団を改組し 21 個分団 639 名とする。
昭和 38. 11. 18	屈折式梯子消防車（15m級）を本署に配備する。
昭和 39. 5. 1	機構改革により、消防署に指導係を設置する。
昭和 41. 7. 1	本署に救助隊を設置する。（隊員 10 名）
昭和 41. 12. 1	消防庁舎を改築する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造地下 1 階、地上 3 階建 ○ 面積 1,993.2 m <sup>2</sup> ○ 望楼の高さ 36.5m 機構改革により、事務課に庶務、経理の 2 係を設置、消防課を予防課（保安、指導係）に改め、消防署の指導係を警備係に改める。
昭和 44. 4. 1	消防職員定数を 133 名とする。
昭和 44. 10. 6	3 カ年継続事業の小型動力ポンプ専用積載車を全分団へ交付（21 台）完了する。
昭和 44. 10. 18	機構改革により、消防本部事務課に防災係を設置し、消防署指導係を廃止する。
昭和 45. 4. 1	消防職員定数を 138 名とする。
昭和 46. 4. 1	橘町合併に伴い、消防団を 22 個分団 732 名とする。
昭和 46. 7. 1	消防職員定数を 144 名とする。
昭和 46. 11. 9	小田原ライオンズクラブから、救急車 1 台の寄贈を受ける。
昭和 47. 3. 30	北分署庁舎を設置し、救急車を配備する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造 1 部 2 階建 ○ 面積 248.20 m <sup>2</sup>
昭和 47. 4. 1	消防職員定数を 158 名とする。
昭和 48. 4. 1	機構改革により、事務課防災係を警備係に改める。
昭和 49. 4. 1	機構改革により、事務課を庶務、経理の 2 係とし、予防課を消防課（警備係、予防係、保安係）に改める。
昭和 50. 4. 1	消防本部消防課に査察係を新設する。
昭和 62. 4. 1	消防職員定数を 178 名とする。
昭和 63. 4. 1	城北分署を設置する。 ○ 組織 消防職員 20 名 ○ 設備 消防車 2 台 救急車 1 台 連絡車 1 台 ○ 設置場所 小田原市栢山 3017-2 消防職員定数を 186 名とする。
平成元. 4. 1	機構改革により、消防本部事務課を総務課に、消防課を警防課とする。また、消防署を課・係制度に改め、消防課・警備第 1 課及び警備第 2 課を新設する。 西大友分遣所を西大友分署に改める。 消防職員定数を 192 名とする。 特別救助隊が発足する。

## 消防のあゆみ

年 代	変 遷
平成 2. 4. 1	消防職員定数を 200 名とする。
	梯子付消防自動車(31m)を本署に配置する。
平成 4. 4. 1	消防職員定数を 210 名とする。
平成 5. 4. 1	機構改革により、総務課を消防総務課（総務係・経理係）、消防課庶務係を消防課管理係に改める。
	消防職員定数を 218 名とする。
平成 6. 4. 1	機構改革により、消防本部予防課（予防係・査察係・保安係）、消防課を廃止し、消防署指導担当（指導係・指令第 1 係・指令第 2 係）を新設する。
平成 6. 8. 1	消防庁舎を小田原市前川 183-18 に移転する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造 3 階建塔屋付 ○ 延床面積 3931.8 m <sup>2</sup>
	旧庁舎を中央分署とする。
平成 7. 4. 1	機構改革により、指導担当を廃止し、指令第 1 係、指令第 2 係を警備第 1 課、警備第 2 課の所属とする。また、次長制度を新設する。
平成 7. 6. 30	緊急消防援助隊に登録する。
平成 8. 4. 1	機構改革により、予防課査察係・保安係を統合し、予防課査察保安係とする。
平成 8. 7. 9	防災体制の充実を図るため、北分署を市役所本庁舎 1 階に移転する。
平成 12. 6. 1	小田原市消防職員退職者 23 名により、消防本部の行う消防活動を支援する小田原市災害時消防支援隊を設置する。
平成 16. 4. 1	機構改革により、消防署指導係を管理調査係に改める。
平成 18. 4. 1	機構改革により、警防課に救急救命係を新設。
平成 18. 8. 1	中央分署及び西分署を統合し南分署を設置する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造 4 階建 ○ 設置場所 小田原市南町 1-9-36
平成 23. 4. 1	機構改革により、消防総務課総務係と経理係を統合し、消防総務課総務係とする。また、予防課査察保安係を予防課指導係、予防課危険物係とする。
平成 25. 3. 31	南足柄市及び足柄上郡（中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）から消防事務を受託する。 この消防の広域化により 1 本部 2 署 2 分署 7 出張所で、職員数 3 5 3 名の配備態勢となる。 署所の名称を改める。（小田原消防署、南町分署、荻窪出張所、国府津出張所、栢山出張所、西大友出張所）足柄消防署、松田分署、岡本出張所、山北出張所、中井出張所を配置する。

	<p>機構改革により、消防総務課を総務係と財務係とする。広域調整課（広域調整係、消防団係）を新設する。警防課を警防計画課（計画係、装備係）に改める。救急課（救急対策係）を新設する。情報司令課（情報管理係、司令係）を新設する。消防署管理調査係を廃止し、消防課を新設する。警備課を警防課に改める。</p>
	<p>小田原消防署に高度救助隊を発足する。</p>

## 消防の広域化について

平成25年3月31日、小田原市消防と足柄消防組合は統合し、県西地域2市5町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）を管轄する「新たな小田原市消防」としてスタートしました。

新体制のもと、災害対応力の強化や行財政運営の効率化など、消防の広域化による効果を最大限に活かし、火災などに強い安心して暮らせるまちの実現を目指して、これからも消防職員一丸となって取り組んでいきます。

### ～ 消防の広域化の経緯 ～

年 月	内 容	所 管
平成18年6月	「消防組織法」を一部改正	総務省消防庁
平成18年7月	「市町村の消防広域化に関する基本指針」告示	
平成19年3月	「広域消防検討分科会」を設置	県西地域広域市町村圏協議会
平成19年5月	「市町村の消防の広域化検討結果報告書」作成	神奈川県
平成19年5月	広域化のメリット・デメリットを整理(広域消防検討分科会)	県西地域広域市町村圏協議会
平成20年3月	「神奈川県消防広域化推進計画」を策定	神奈川県
平成22年3月	「広域消防グランドデザイン」作成(広域消防検討分科会)	県西地域広域市町村圏協議会
平成22年4月	「消防広域化検討部会」を設置	
平成23年2月	「消防広域化検討結果報告書」作成(消防広域化検討部会)	神奈川県西部広域行政協議会
平成23年8月	消防の広域化に向けた新たな協議組織への参画を表明	
平成23年9月	「神奈川県西部消防広域化協議会」の設置	神奈川県西部消防広域化協議会
平成24年1月	全ての協議項目を確認し各市町が参画表明	
平成24年3月	「足柄消防組合の解散に係る協議について」議決	足柄1市5町各議会
平成24年4月	「神奈川県西部広域消防運営計画」の承認 「消防事務の委託に関する規約」の承認	神奈川県西部消防広域化協議会
平成24年6月	「消防事務の委(受)託に関する協議について」議決	県西地域2市5町各議会
平成24年7月	2市5町の首長による「消防事務の委託に関する規約締結式」が挙行され、消防の広域化が正式に決定	神奈川県西部消防広域化協議会

## 歴代消防長

代名	氏名	就任・退任年月
初代	永野 林次	昭和 23 年 3 月 ~ 昭和 30 年 3 月
2	荻窪 幸六	昭和 30 年 4 月 ~ 昭和 36 年 9 月
3	二見 衡平	昭和 36 年 10 月 ~ 昭和 40 年 6 月
4	小野 菊造	昭和 40 年 7 月 ~ 昭和 44 年 10 月
5	勝間田 熊雄	昭和 44 年 11 月 ~ 昭和 47 年 5 月
6	遠藤 英昭	昭和 47 年 6 月 ~ 昭和 62 年 3 月
7	内藤 慶一	昭和 62 年 4 月 ~ 昭和 62 年 11 月
8	中村 満	昭和 62 年 12 月 ~ 平成 5 年 3 月
9	中村 久雄	平成 5 年 4 月 ~ 平成 8 年 3 月
10	高橋 廣毅	平成 8 年 4 月 ~ 平成 9 年 3 月
11	塩塚 喜六	平成 9 年 4 月 ~ 平成 13 年 3 月
12	大木 徹	平成 13 年 4 月 ~ 平成 14 年 3 月
13	二見 泰亘	平成 14 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月
14	椎野 清一	平成 16 年 4 月 ~ 平成 18 年 3 月
15	府川 利明	平成 18 年 4 月 ~ 平成 19 年 3 月
16	中村 章	平成 19 年 4 月 ~ 平成 20 年 3 月
17	日比野 満雄	平成 20 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月
18	木目田 和義	平成 22 年 4 月 ~ 平成 24 年 3 月

## 歴代消防団長

代名	氏名	就任・退任年月	
初代	原 徳太郎	昭和 23 年 4 月	昭和 27 年 3 月
2	林 栄太郎	昭和 27 年 4 月	昭和 31 年 3 月
3	渡辺 郷作	昭和 31 年 4 月	昭和 33 年 3 月
4	池田 六郎	昭和 33 年 4 月	昭和 35 年 3 月
5	柳川 万太郎	昭和 35 年 4 月	昭和 37 年 3 月
6	杉崎 二郎	昭和 37 年 4 月	昭和 43 年 3 月
7	古宮 俊夫	昭和 43 年 4 月	昭和 45 年 3 月
8	遠藤 武	昭和 45 年 4 月	昭和 47 年 3 月
9	青木 好太郎	昭和 47 年 4 月	昭和 51 年 4 月
10	野地 博	昭和 51 年 5 月	昭和 53 年 3 月
11	小澤 隆	昭和 53 年 4 月	昭和 55 年 3 月
12	原 正廣	昭和 55 年 4 月	昭和 57 年 3 月
13	竹井 善作	昭和 57 年 4 月	昭和 59 年 3 月
14	奥津 喜代治	昭和 59 年 4 月	平成 4 年 3 月
15	大木 清	平成 4 年 4 月	平成 8 年 3 月
16	久保寺 實夫	平成 8 年 4 月	平成 12 年 3 月
17	若林 清光	平成 12 年 4 月	平成 14 年 3 月
18	押田 光泰	平成 14 年 4 月	平成 18 年 3 月
19	三邊 和夫	平成 18 年 4 月	平成 20 年 3 月
20	釧持 久資	平成 20 年 4 月	平成 24 年 3 月



## おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
昭和 23. 9.16	アイオン台風	市 内 全 域	死者 2, 負傷者 2, 流出家屋 36, 半流出家屋 14, 道路決壊 11, 河川堤防決壊 44
昭和 24. 5.10	火 災	緑 1 玩 具 店	全焼 41 損害額 130,080 千円
昭和 24. 8.31	キティ台風	市 内 全 域	死者 1, 負傷者 26, 流出家屋及び全壊 103, 河川決壊 4, 道路堤防決壊 8
昭和 26.11.28	火 災	万年 1 木 工 所	全焼 282, 半焼 10 損害額 151,440 千円
昭和 30. 2.21	〃	荻窪 住 宅	全焼 4, 部分焼 3 死者 4 損害額 2,800 千円
昭和 30.12.29	〃	緑 4 旅 館	全焼 1, 半焼 2 損害額 8,100 千円
昭和 35. 6. 6	〃	久野 住 宅	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 715 千円
昭和 38. 1. 9	〃	緑 1 家 具 店	全焼 1, 部分焼 2 損害額 15,724 千円
昭和 41. 1. 9	〃	多古 中 学 校	全焼 1 損害額 23,784 千円
昭和 42.11.27	〃	井細田 工 場	半焼 1 損害額 182,263 千円
昭和 43. 3.27	〃	栄町 教 会	全焼 2, 半焼 1, 部分焼 1 死者 2 損害額 19,831 千円
昭和 43. 4.23	〃	栄町 2 菓 子 店	全焼 3, 半焼 4 損害額 43,961 千円
昭和 43. 6. 2	〃	池上 小 学 校	半焼 1, 部分焼 1 損害額 8,063 千円
昭和 44. 7.25	〃	栄町 2 レストラン	全焼 1, 半焼 3, 部分焼 2 損害額 42,358 千円
昭和 45. 1.19	〃	城山 3 中 学 校	全焼 4 損害額 40,573 千円
昭和 45. 3.14	〃	堀之内 電 気 店	全焼 1, 部分焼 1 死者 1 損害額 9,275 千円
昭和 45. 7. 3	〃	高田 工 場	部分焼 1 損害額 58,589 千円
昭和 46. 1. 9	〃	中曽根 住 宅	全焼 1, 部分焼 6 死者 3 損害額 899 千円
昭和 46. 3. 5	〃	板橋 家 具 店	全焼 1, 部分焼 5 損害額 64,279 千円
昭和 47. 3.16	〃	扇町 住 宅	全焼 1, 部分焼 1 死者 1, 負傷者 1 損害額 2,630 千円
昭和 47. 9.15 ～16	集中豪雨 台風 20 号	市 内 全 域	死者 2, 負傷者 5, 家屋全壊 2, 橋りょう流出損壊 2

## おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和 48. 4.19	火 災	高田 工場 倉庫	全焼 1 1,472 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 1 損害額 81,350 千円
昭和 48. 8.12	〃	蓮正寺 工場 倉庫	全焼 1 1,728 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 1 損害額 207,510 千円
昭和 48.10. 7	〃	中町 1 材木 置場	全焼 27, 半焼 1, 部分焼 11 4,120 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 209,800 千円
昭和 49. 1.23	〃	曾我大沢 小 学 校	全焼 4, 部分焼 1 2,256 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 27,650 千円
昭和 50. 1.14	〃	小八幡 3 工 場	全焼 5, 部分焼 3 971 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 15,000 千円
昭和 50. 3.24	〃	国府津 3 郵 便 局	全焼 2, 半焼 1, 部分焼 2 460 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 28,387 千円
昭和 50. 5. 7	〃	中町 3 工 場	全焼 3, 部分焼 2 431 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 25,897 千円
昭和 51. 1.20	〃	田 島 寺 院	全焼 1 158 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 8,762 千円
昭和 51. 1.27	〃	板 橋 住 宅	全焼 3, 部分焼 2 268 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 12,546 千円
昭和 51.11.21	〃	久野 住 宅	全焼 2, 半焼 1, 部分焼 2 255 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 16,652 千円
昭和 51.12. 8	〃	扇町 木 工 所	全焼 5, 部分焼 6 498 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 23,788 千円
昭和 53. 3.20	〃	中町 3 木 工 所	全焼 10, 半焼 3, 部分焼 2 1,100 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 66,605 千円
昭和 53. 4.11	〃	栄町 1 事 務 所	全焼 1, 部分焼 3 745 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 28,691 千円
昭和 53. 5.24	〃	扇町 1 保 護 施 設	全焼 5, 半焼 1 649 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 19,038 千円
昭和 53. 6.23	〃	本町 4 製 材 所	全焼 2 656 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 7,548 千円

## おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和 54. 3.12	火 災	南町 3 住 宅	全焼 3, 半焼 2, 部分焼 3 1,009 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 112,913 千円
昭和 54. 4.11	”	小 台 住 宅	全焼 3 267 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 8,997 千円
昭和 54.12.18	”	中町 3 木 工 所	全焼 6 761 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 61,621 千円
昭和 55. 8.15	”	中 里 住 宅	全焼 2, 部分焼 2 214 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 22,507 千円
昭和 56. 4. 1	”	久野 飲 食 店	全焼 1 203 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 10,924 千円
昭和 56. 7.11	”	扇町 材 木 店	全焼 9, 半焼 1, 部分焼 7 1,290 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 3 損害額 110,699 千円
昭和 57. 3.25	”	南町 住 宅	半焼 1, 部分焼 2 738 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 23,695 千円
昭和 61. 1.28	”	久野 製 材 所	全焼 1, 部分焼 4 1,088 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 33,321 千円
昭和 63. 1. 2	”	下大井 工 場	全焼 2, 半焼 1 569 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 99,622 千円
昭和 63. 2. 5	”	城山 住 宅	全焼 5, 半焼 3, 部分焼 8 507 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 27,377 千円
平成 2.10.28	”	入生田 倉 庫	全焼 2 205 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 33,150 千円
平成 3. 9. 4	”	扇 町 共 同 住 宅	全焼 1, 半焼 1, 部分焼 1 1,148 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 46,931 千円
平成 4. 7.21	”	寿町 1 工 場	全焼 1, 半焼 1, 部分焼 1 1,327 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 77,559 千円
平成 4.12.14	”	南町 1 住 宅	全焼 4, 半焼 1, 部分焼 2 409 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 15,060 千円
平成 6. 8.11	”	荻 窪 工 場	全焼 2, 部分焼 3 1,308 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 1 損害額 114,459 千円
平成 7.10.25	”	小八幡 2 住 宅	全焼 4, 半焼 1, ぼや 4 523 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 42,989 千円
平成 8. 3. 5	”	成田 工 場	半焼 1 1,228 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 267,817 千円

## おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 9. 5.23	火 災	久野 寄 宿 舎	全焼 1, ぼや 1 487 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 15,516 千円
平成 10. 1.23	”	久野 工 場	全焼 2 533 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 26,605 千円
平成 11. 1.21	”	府川 住 宅	全焼 5 661 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 17,797 千円
平成 11. 2. 1	”	飯泉 住 宅	全焼 2, 部分焼 1, ぼや 3 140 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 16,046 千円
平成 11. 2.17	”	小竹 住 宅	全焼 3, ぼや 2 285 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 19,650 千円
平成 12. 9.14	”	石橋 住 宅	全焼 2, ぼや 2 190 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 21,624 千円
平成 13. 2.25	”	小八幡 住 宅	全焼 1, 半焼 1, 部分焼 1, ぼや 1 196 m <sup>2</sup> 焼損 死者 5, 負傷者 3 損害額 8,922 千円
平成 15. 2.18	”	本町 2 店舗併用住宅	全焼 1, 半焼 1 327 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1, 負傷者 2 損害額 17,375 千円
平成 15. 3.12	”	前川 倉 庫	全焼 4, 部分焼 2, ぼや 10 2,608 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 294,877 千円
平成 15. 8.11	”	飯泉 工 場	全焼 2, ぼや 2 2,468 m <sup>2</sup> 焼損 負傷者 3 損害額 131,289 千円
平成 16. 7.3	”	扇町 2 住 宅	全焼 4, 部分焼 4, ぼや 2 265 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 11,401 千円
平成 17.6.27	”	小 船 牛 舎	全焼 3 475 m <sup>2</sup> 焼損 乳牛 3 3頭焼損 負傷者 2 損害額 24,462 千円
平成 18.1.18	”	下大井 住 宅	全焼 1, ぼや 3 193 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 27,456 千円
平成 19.11.5	”	根府川 住 宅	全焼 2、部分焼 3, ぼや 3 240 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1, 負傷者 1 損害額 14,149 千円
平成 20.12.27	”	曾我大沢 住 宅	全焼 1 71 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1 損害額 1,853 千円

## おもな災害

年 月 日	災害の種類	被 害 場 所	被 害
平成 21.1.30	火 災	荻窪 店舗兼事務所	半焼 1 82 m <sup>2</sup> 焼損 死者 2、負傷者 4 損害額 11,370 千円
平成 22.12.28	〃	栄町 住 宅	全焼 5、ぼや 5 538 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 18,614 千円
平成 23. 4.17	〃	西大友 併用住宅	全焼 3、半焼 1 226 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 28,105 千円
平成 24.2.17	〃	東町 住 宅	全焼 1、ぼや 2 39 m <sup>2</sup> 焼損 死者 1、損害額 1,019 千円
平成 24.7.16	〃	小船 倉 庫	全焼 1、ぼや 4 404 m <sup>2</sup> 焼損 損害額 6,499 千円